

目次

対象配置		TC(time control)						SS(Special Stage)						
		LEG START	REGROUP OUT	Service IN	Service OUT	Regroup IN	Parcferme IN	SS Start前	Start	Start Radio	Radio	FF	STOP	STOP Radio
page	項目													
2	LEG START、REGROUP OUT	○	○											
4	SS前TC							○						
6	SS Start								○	○				
8	SS FLYING FINISH (FF)											○		
10	SS STOP												○	○
12	各コントロールの配置について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	RADIO										○			
14	TRACKING									○	○		○	○
16	TC(Service周り)			○	○									
18	TC(Regroup IN・Parcferme IN)					○	○							
20	今回使用するタイムカード	○	○	○	○	○	○	○	○				○	

共通注意事項

<タバード>

タバードは必ず着用し、チーフはチーフとわかるタバードを着用

<競技体制>

00カー通過からSweeper通過まで競技体制を維持する

<タイムカード記入>

記入時刻は00:01～24:00の形式で記入

<撤収時>

Sweeper通過まで競技体制を維持するが、来ない場合もあるので、撤収はコマンダー又はH Qの指示に従う

LEG START(TC0など)、REGROUP OUT

<備品 及び 開設準備>

- 電波時計 時刻を確認
- TC看板 計時する場所
- 解除看板 TC看板の約5m前方に
- 無線・携帯 HQ との感度確認
- スタートリストを事前に入手しておく
- タイムカードを00カー通過前までに入手しておく

<競技中>

- ① 事前にスターティングリスト通りに、スタート予定時刻と車番をタイムカードの予定時刻欄に記入
- ② スタートに競技車が到着し、実スタート時刻が確定したらタイムカードの実スタート時刻欄に記入し、タイムカードを手渡す。
※スタート時刻にはクルー 2 人と車両が到着している必要がある
- ③ 記録用紙記入（次ページ参照）
- ④ スタート時刻になったら、スタートの合図を送る

<特記事項>

★遅着の場合

スタートに遅れた競技車がいた場合、HQに報告し対応は相談する。
15分以上遅れた場合はスタートさせない。

★競技車が来ない場合

競技車が来ない場合は間隔を詰めず、スタートリストのスタート時刻通りに対応すること

LEG START(TC0など)、REGROUP OUT

タイムカード (TC0の例)

※赤文字部分を記入する

スターティングリストの予定スタート時刻を記入

実際のスタート時刻を記入

エントラントへの告知事項がある場合は、メモ欄として利用する (告知初号車も記録)

記録用紙

※ 数字はダミーです

告知内容: (渋滞状況等) 告知初号車

S=スタート早/遅、P=パルク違反、報=HQへの報告 告知=渋滞情報等の選手告知

車番	予定時刻		実スタート時刻		違反(要連絡)		告知	備考
	hour	min	hour	min	S	P 報		
1	00	09:33	09:33	09:33	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	0	09:58	09:58	09:58	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	1	10:04	10:04	10:04	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4	2	10:05	10:05	10:05	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5	3	10:06	10:07	10:07	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10秒遅刻

スターティングリストより転記

反則スタートがあった場合の内容

HQへの報告の忘備録

SS前 TC

<備品 及び 開設準備>

- 電波時計 時刻を確認
- TC看板 計時する場所
- 予告看板 TC看板の約25m後方に
- 無線 スタート、コマンダーとの感度確認

<競技中>

- ① エリア進入時刻チェック
予定時刻の1分以上前のエリア進入は記録し、コマンダーに報告
コドラが徒歩でエリアに入るのはOK
- ② タイムカードを受け取る
※自らから手を出してはいけない
※チェックイン時刻にはクルー 2 人と車両が到着している必要がある
(下記<特記事項>に例外運用あり)
- ③ チェックインタイムを記入
カードを受取った時刻をタイムカードに記入
- ④ スタート予定時刻(チェックイン時刻+3分)をタイムカードに記入
※同分に2台以上チェックインした場合も予定時刻は同時刻で記載
- ⑤ 記録用紙記入 (次ページ参照)
- ⑥ タイムカードを選手に渡す

★遅着早着チェック

目標チェックイン時刻(前SS or TCのスタート時刻+目標時間)に対して
実際のチェックイン時刻を確認。遅着・早着の場合はコマンダーに報告
※15分を超えて遅着となった場合、レグ離脱/リタイヤとなる可能性がある。

★パルク違反監視

TC予告看板以降は一切の車両整備、空気圧チェック等は禁止。
違反を確認した場合はコマンダーに報告

<特記事項>

**★エリアが競技車で混雑していてエリアに進入できない場合は、コドラが車両を降りてタイムカードを提出すれば、TCインすることができる。
ただし、提出後は、当該車両にパルクフェルメ規制が適用される。**

SS前 TC

タイムカード (サンプル)

※赤文字部分を記入

TC 1 SS 1 西山A 南下 1
4.427 km

フィニッシュ時刻
H 09 M 22 S 10 I/10 2

スタート予定時刻
SS 1
H 09 M 07

実スタート時刻
H 09 M 07

目標時間
H 00 M 55

到着予定時刻
H 10 M 02

TC 2

SS 2 西山B 南下 1
3.354 km

フィニッシュ時刻
H M S I/10

スタート予定時刻
SS 2
H 10 M 05

実スタート時刻
H M

目標時間
H 00 M 55

到着予定時刻
H M

TC 3

タイムカード記入時は秒は切捨て

<目標チェックイン時刻>
前TCのスタート時刻 + 目標所要時間
※前TCがSSを伴う場合
SSスタート時刻 + 目標所要時間

タイムカードより転記(全車同分が記載されている)

タイムカードを受取った時刻(秒については概数)

チェックイン時刻の3分後(秒は切捨) **TWZがある場合は、3分とは限らないので、要確認**
前車と同刻でも構わない

タイムカードから転記
・前がTCがSSを伴う場合はSSの実スタート時刻
・その他は、前TCのスタート時刻

コントロールエリア内での整備を行った場合は、チェックを付け、SCへ報告

記録用紙

※ 秒の記入は必要だが、違反等の記録として有用なもので、大体は記入する

Target time = 55

A=エリア侵入早、C=チェックイン早/遅、P=パルク違反、R=HQへの報告

車番	エリア進入時刻			チェックイン時刻			予定スタート時刻		前TC/SS時刻		違反(要報告)			備考		
	hour	min	sec ※	hour	min	sec ※	hour	min	hour	min	A	C	P 報			
1	0	09	29	10	09	30	11	09	33	08	38	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(早/遅)	<input type="checkbox"/>	
2	00	09	54	09	55	01		09	58	09	03	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(早/遅)	<input type="checkbox"/>	
3	1	09	58	10	00	04		10	03	09	05	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(早/遅)	<input checked="" type="checkbox"/>	
4	2	10	02	10	02	06		10	05	09	06	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	(早/遅)	<input checked="" type="checkbox"/>	
5	3	10	02	10	02	10		10	05	09	07	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(早/遅)	<input type="checkbox"/>	SCへ報告し 終了したらチェックをつける

※ 秒の記載は必要ないが、あった方が状況を思い出すのに便利

TC予告看板を通過した時刻(秒については概数)

目標チェックイン時刻の1分以前にTC予告看板を通過した場合は、チェックを付けSCへ報告

目標チェックイン時刻早着or遅着の場合は、チェックとOを付けSCへ報告

SS Start

<備品 及び 開設準備>

- スタート看板
- 解除看板 約25m前方(STOP寄り)に設置
- 消火器 4kg×2本相当(FIV搭載用とは別に)
- TIV・MIV(FIV) スタートの先に配置
- スタートシステム 時刻合わせを確認
- スタートラインを引く (いかなる路面でも必須)
- フライングチェッカー(使用する場合) 作動確認(含む印字装置)
※光電管はスタートラインの先50cmに設置
- 無線の感明チェック(対山長・ラジオ・HQ・TC・STOP)
- スタートラジオ担当は別途、トラッキングのページも確認**

<競技中>

- ① スタートラインに車の先端を合わせて止める
※前車との間隔が1分以上になる場合、早発しないように車両の前に立つ
- ② スタート時刻決定、カード記入
※競技長の指示がない限り、前車との間隔は、スターティングリストと同じ
- ③ エントラントの理由でのスタート時刻変更は原則、禁止**
※選手からアピールがあった場合でも競技長の判断が必要
※不可抗力が生じた場合は、担当競技役員がスタート時刻を変更できる
- ④ スタート進行・監視(フライングスタート)
シグナル使用時 スタートシグナルを使用しても、30秒前はコールする
シグナル非使用時 30秒前,15秒前,10秒前,5,4,3,2,1とカウントダウン
※フライングスタートは、SCへ報告すると共に、トラッキング内でSTOPに連絡
- ⑤ パルク違反監視(解除看板までは一切の車両整備禁止)
- ⑥ 告知事項(コース情報や赤旗提示状況)伝達
※何号車から伝達したかSCへ報告
- ⑦ 安全装備確認と注意
(ヘルメットのストラップ・シートベルト・グローブ・HANS等のFHR・窓の全閉)
※修正の指示を出し、スタート前に対応させる
- ⑧ 記録用紙記入(次ページ参照)

<特記事項>

★20秒以上経過してもスタートできない車は、安全な場所に排除
(この時点でリタイヤorレグ離脱)

★赤旗下のスタートであっても、スタート時刻(カード記載・実時刻共)は変更してはならない

SS Start

タイムカード (サンプル)

※赤文字部分を記入

タイムカードより転記

実際のスタート時刻を記入
TC到着時刻(チェックイン時刻)から3分以上(TWZがある場合は、3分とは限らないので、要確認)経過していること。
※スタート予定時刻を見ても良いが、TCが計算ミスをしている場合もあるので、TC到着時刻を確認する

エントラントへの告知事項がある場合は、メモ欄として利用する(告知初号車も記録)

記録用紙

告知内容:(路面、状況等) 告知 号車:

※グレーの部分はできる範囲の記入で良い
W:窓, B:バルト, S:顎紐, G:手袋, H:HANS, 報:山長への報告, 連:STOPへの連絡

車番	予定 start	実Start	driver※			co-dra※			反則スタート	備考	告知
			W	B	S	G	H	W			
1	0 0 9 3 3	0 9 : 3 3	☑	☑	☐	☐	☑	☑	☑	フライング0.5秒	☐
2	00 0 9 5 8	0 9 : 5 8	☑	☑	☑	☑	☑	☑	☑		☐
3	1 1 0 0 3	1 0 : 0 3	☑	☑	☑	☑	☑	☑	☑		☐
4	2 1 0 0 5	1 0 : 0 5	☑	☑	☑	☑	☑	☑	☑		☐
5	3 1 0 0 5	1 0 : 0 6	☑	☑	☑	☑	☑	☑	☑		☐

告知したかの忘備録

安全装備関係チェックの備忘録(推奨)

SCへの報告、STOPへの連絡の忘備録

反則スタートがあった場合の内容(詳細)

SS FLYING FINISH (FF)

<備品 及び 開設準備>

- FF予告看板 約100m後方(Start寄り)に設置
- FF看板 計測ライン上に設置
- 計測ライン 白線を引く
- 計時機器 競技車との接触や風雨の影響を考慮した位置に設置
メインとサブは別々の人間が測定
- 配置 オフィシャルの安全を確保できる場所を確保
- 無線の感明チェック(対STOP)

<競技中>

- ①測定した時刻(メイン・サブ共) を記録用紙に記入
- ②可能なら車番を記録する→不明の場合はSTOPに問い合わせる
- ③記録した時刻(トラブルのない限りメイン)をSTOPへ連絡
FF→STOPの時刻の伝達方法は、色々な方法があるので、STOPと事前
に確認する (今回はモスラ携帯無線機にて) →**復唱して確認すること**
- ④パルク違反の監視(FF予告看板からは車両整備禁止)
- ⑤FF予告→STOP間の停車の監視
- ⑥記録用紙記入(次ページ参照)

<特記事項>

★計時機器と無線機のアンテナが近いと、電波障害で計時機器がリセットされるので1m以上の距離をとること

★1台でもメイン、サブが共に計時できない場合、そのSSがキャンセルになった事例もあるので注意。

SS FLYING FINISH (FF)

主計時システムのフィニッシュ時刻
1/10秒で計時する場合は、STOPへは1/100秒を切り捨てて伝える

副計時システム(バックアップ用)の時刻を記入する

記録用紙

1. 主計時システムとも、1/100秒まで記録し、STOPへは切捨て1/10秒を連絡する	
2. 予告降で違反事項(停車・追越・後進など)は無線連絡後備考欄に記入してください	
3. 車番なかった場合は、STOPに確認して記入してください。	

	車番	FF time(主システム)					FF time(副システム)					備考(違反内容等) ↓違反報告
		hour	min	sec		hour	min	sec				
				1/10	1/100			1/10	1/100			
1	0	0	58	43	72	09	58	43	69	<input type="checkbox"/>		
2	00	10	14	18	21	10	14	17	17	<input type="checkbox"/>		
3	1	10	19	13	92	10	19	13	89	<input type="checkbox"/>		
4	2	10	20	12	83	10	20	12	80	<input type="checkbox"/>		
5	3	10	21	14	28	10	21	14	25	<input type="checkbox"/>		

※ 切捨てされたことがわかるように1/100秒まで記録するようにしてあります

パルク違反・停車/追越等の際に内容をメモをする
SCに報告したら✓をつける

SS STOP

<備品 及び 開設準備>

- STOP看板 競技車を停止させる場所に設置
- 解除看板 約25m先に設置
- 消火器 4kg×2本相当
- 無線の感明チェック(対SC・ラジオ・HQ・START・FF)
- HQとの連絡手段の確認
- ラジオトラッキングとFFからの無線受信には各々専任配置が望ましい。
FFの通過時刻を聞く担当は、時刻の書き取りに専念する
- STOPラジオ担当は別途、トラッキングのページも確認

<競技中>

- ① FFから通過時刻を受信、記録用紙に記入
- ② タイムカードを受け取り、FF通過時刻・所要時間を記入
※反則スタートの場合は、タイムカードに記載しエントラントに告知する。
- ③ 必要の応じて行方不明車情報の聞き取り
- ④ 暫定結果表への記入(余裕がある場合)
- ⑤ パルク違反の監視(解除看板までは一切の車両整備禁止)
- ⑥ FF予告→STOP間の停車の監視
- ⑦ 記録用紙記入(次ページ参照)

<特記事項>

- ★有事の際、チーフもしくはDSCが方不明車両の聞き取りに集中できる様、
役務配分を考える
- STOPがいち早く行方不明車両の存在を認識することが最重要事項

- ★FF→STOPの時刻の伝達方法は、色々な方法があるので、FFと事前に確認する。(今回はモスラ携帯無線機にて) →復唱して確認すること

SS STOP

タイムカード (サンプル)

※赤文字部分を記入

TC 2 SS 2 西山B 南下 1 3.354 km

選手使用欄

フィニッシュ時刻
H M S 1/10
10 21 14 2

スタート予定時刻
SS 2
H M
10 06

実スタート時刻
H M
10 06

目標時間
H M
00 55

到着予定時刻
H M
TC 3

所要時間
M S 1/10
15 14 2

TC 3

FFから入手した
フィニッシュ時刻

タイムカード
より転記

所要時間を
フィニッシュ時刻 - スタート時刻
で計算

記録用紙

車番	フィニッシュ時刻				スタート時刻		所要時間		備考	
	hour	min	sec	1/10	hour	min	min	sec		
1	09	58	43	7	09	33	25	43	7	□
2	10	14	18	9	09	58	16	18	2	□
3	10	19	13	9	10	03	16	1	9	□
4	10	20	12	8	10	05	15	12	8	□
5	10	21	14	2	10	06	15	14	2	□

備考: スタートから反則スタートの連絡が来た場合、告知したかの忘備録
タイムカードのフライング欄に✓を入れる

不明車捜索用 聞き取り調査票

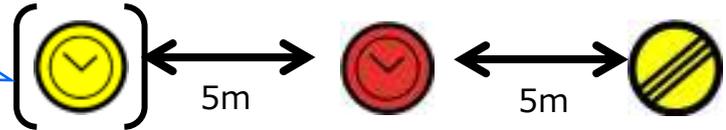
調査対象		地点		時刻				
号車: 9	車種: VAB	最後のTracking point	Start	10:12				
		未着のTracking point	Radio 1					
後続競技車からの聞き取り ※ D=Driver, C=Co-Driver								
車番	D or C ※	時刻	見たか	OK/SOS	通過可否	三停板	目撃地点 (XXより〇〇kmなど)	左側/右側
10	ドラ	10:30	見た	歩いてた	可能	?	Radio 1の光 左コーナー	右
11	コドラ	10:31	↓	OKあり	↓	設置中	Radio 1の光500mくらい	↓
12	ドラ	10:32	↓	↓	↓	あり	↓	↓

後続車に聞くべき項目の確認とメモに利用する

各コントロールの設置について

<TC0> ※

TC0の予告看板は必要有無の両説がある。主催者に確認すべき



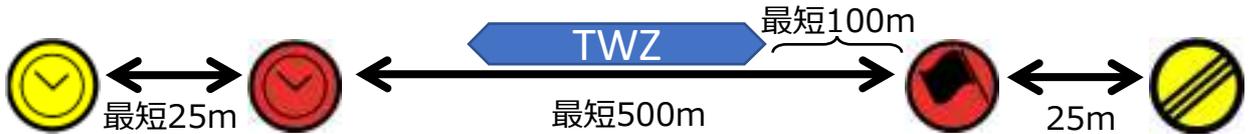
<SS前のTC→Start>

緊急車両は、スタートの前方のスタートから見え、最長でも150m以内の場所で待機する
→APEX_H 5.5.1 a) 【日本語版は誤訳あり】

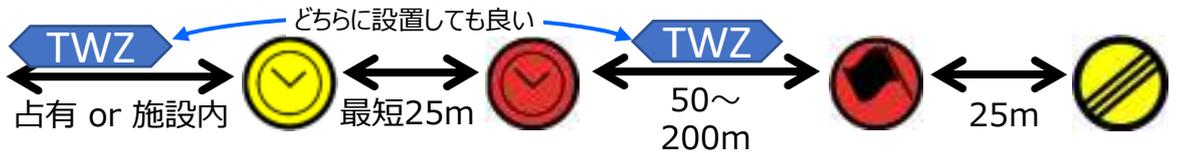


WRSR & RRRでTWZ(Tyre Warming Zone)を設置する場合 →WRSR & RRR 44.4

※TWZの始まりと終わりに看板をを設置(デザインは決められていない) →WRSR & RRR 44.4.3



国内競技規則に則りTWZ(Tyre Warming Zone)を設置する場合 →ラ開規_細入_22条



<SSのFF→STOP>



※ FF・STOP間は、RRR/WRCRでは少なくとも200mとの記載に変更になっている
→WRSR & RRR_49.1

<Service前後TC>



<Regroup> ※

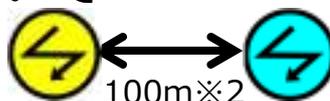


<パルクフェルメ前TC> ※



※ 諸規則には明確な説明がないので、多くの主催者が採用している方式を記述した

ラジオポイント設置について



※2 APEX_H 5.5.4.4では、100~200mと記載されているが、WRSR & RRR APPENDIX I、ラ開規_細入_別添2には100mと記載されている。後者が一般的に採用されている。

RADIO

<備品 及び 開設準備>

- 予告看板 約100m後方(Start寄り)のラジオのある側に設置
- ラジオ看板 赤旗を提示する場所に設置
- 赤旗 (2022年より全日本以外も赤旗に変更)
- 消火器 3kg以上 1本
- 無線車は競技車からの視界に入らないように配置
- 夜間で無線車が点灯時は競技車を幻惑しないように注意
- オフィシャルの安全を確保できる場所を確保
- 安全かつエントラントから見えやすい赤旗掲示位置を決めておく
- 無線の感明チェック(他の全Radio or 中継との感明)
- タバードの着用**(赤旗担当はラジオのタバードが必須)**
- トラッキングのやり方は、中継の有無・SSの距離などで色々なやり方があるので、事前にコマンダーと打ち合わせておく

<競技中>

※トラッキングの詳細は別紙「トラッキング」を参照

- ① 毎分0秒にスタートから順番に通過車番を無線で報告する
- ② 記録用紙に記入し、行方不明車の有無をチェックする(次ページ参照)
※通過車番を見る人と無線対応/記録係は別の方が良い
赤旗提示で旗を提示する場合の担当も事前に決めておく
- ③ 競技長から赤旗提示指示の際は、車外で旗を出す(静止掲示)
※赤旗の掲示を最初に見た車両を記録しSCに報告
- ④ **競技車が事故車両について報告に来る場合がある。報告内容をメモし、コマンダーに即、報告する(トラッキングより優先)。コマンダーの許可を得てから競技車をSTOPへ向かわせる。**

<特記事項>

★ラジオポイントは緊急時に競技車の退避場所になることもあるので
駐車スペース、通路は可能な限り確保して無線車を配置

TRACKING

※SSのスタート、STOPの無線担当、HQ管制含む

<トラッキングのポイント>

- ①通過車番を抜けなく報告すること
- ②無線の内容は必要最低限の内容以外話さない
※無線のPPTボタンを押し、一息入れて話し始める
- ③行方不明車捜索など優先度の高い通信がある場合は、記録は続けるが無線発報は一時停止する場合もある

<通常時>

毎分0秒にスタートから順番に通過車番を無線で報告する

<例> スタート :「16分 5号車スタート」
Radio 1 :「 Radio 1 通過なし」
Radio 2 :「 Radio 2 3号車・4号車通過」
Radio 3 :「 Radio 3 通過なし」
Radio 4 :「 Radio 4 通過なし」

<中継>

無線状況により中継が入る場合

<例> スタート :「16分 5号車スタート」
中継 :「 スタート 16分 5号車 Radio 1 どうぞ」
Radio1 :「 Radio 1 通過なし」
中継 :「 Radio 1 通過なし Radio 2 どうぞ」
Radio2 :「 Radio 2 3号車・4号車通過」
中継 :「 Radio 2 3号車・4号車通過 Radio 3 どうぞ」

<緊急時>

緊急時には、2分(3分)分をまとめてトラッキングする場合もある

<例> スタート :「17分14号車 18分15号車スタート」
Radio 1 :「 Radio 1 10号車・11号車通過」
Radio 2 :「 Radio 2 5号車・6号車」
Radio 3 :「 Radio 3 1号車通過」
Radio 4 :「 Radio 4 通過なし」

※ラジオは2分纏めての報告でOK

<特記事項>

- ★スタートラジオはスタートする車両が無い場合も行う(忘れがち)
- ★ Sweeper通過後は起点をスタートから変更する場合もある
- ★ 自ポストをSweeperが通過しても、STOPに到達するまでは、SS内で競技は継続されているので、トラッキングと緊急連絡以外で無線を使用しない

TRACKING

記録用紙

報告時刻	Start	Radio 1	Radio 2	Radio 3	Radio 4	備考
10:03	□ 1	□ -	□ -	□ -	□ -	
10:04	□ -	□ -	□ -	□ -	□ -	
10:05	□ 2	□ -	□ -	□ -	□ -	
10:06	□ 3	□ -	□ -	□ -	□ -	
10:07	□ 4	□ 1	□ -	□ -	□ -	
10:08	□ 5	□ -	□ -	□ -	□ -	
10:09	□ 6	□ 2	□ -	□ -	□ -	
10:10	□ 7	□ -	□ -	□ -	□ -	
10:11	□ 8	□ 3 4	□ -	□ -	□ -	
10:12	□ 9	□ 5	☑ 1	□ -	□ -	
10:13	□ 10	□ 6	□ -	□ -	□ -	
10:14	□ 11	□ 7	☑ 2	□ -	□ -	
10:15	□ 12	□ 8	□ -	□ -	□ -	
10:16	□ 13	□ -	☑ 4 3	□ -	□ -	
10:17	□ 14	□ 10	☑ 5	□ -	□ -	
10:18	□ 15	□ 11	☑ 6	□ 1	□ -	
10:19	□ 16	□ 12	☑ 7	□ -	□ -	
	□	□	□ 8	□	□	
	□	□	□	□	□	

【10:16のTracking内容】
 スタート：「16分13号車スタート」
 Radio 1：「Radio 1、通過なし」
 Radio 2：「Radio 2、4号車・3号車通過」
 Radio 3：「Radio 3、通過なし」
 STOP：「STOP、到着なし」
 ※ 10:16 02秒ぐらいにスタートが無線を入れ、各ラジオポイントが続いて無線を入れていく。10:16のTrackingでは、10:15で報告した車両の後通過した車両を報告する。よって、10:16分台に通過した車両をTrackingするわけではない。Tracking中に通過した車両は、報告漏れがなければ、次分のTrackingでの報告で問題ない。

3号車が4号車に追い抜かれた

9号車がRadio1に到着していない
 →Radio1の見落としかもしれないので、注意して通過を確認する

10:19のTracking後に通過した車番を次の行にメモしておく

10:20のTrackingの際、自分の順番で「Radio 2、8号車通過」と報告し、□に✓をつける

TC(Service周り)

<備品 及び 開設準備>

- 電波時計 時刻を確認
- TC看板 計時する場所
- 予告看板 TC看板の約5m後方に
- 解除看板 約5m先に設置
- タバード チーフはチーフとわかるタバードを着用
- 無線・携帯 HQとの感度確認
- 早着の可否については、事前にHQに確認すること**
- エリア内に許可された者以外入れない様、封鎖テープ等準備する

<競技中>

- ① エリア進入時刻チェック
予定時刻の1分以上前のエリア進入は記録し、コマンダー（SC）に報告
コドラが徒歩でエリアに入るのはOK
 - ② タイムカードを受け取る
※自らから手を出してはいけない
※チェックイン時刻にはクルー 2人と車両が到着している必要がある
(下記<特記事項>に例外運用あり)
 - ③ チェックインタイムを記入
カードを受取った時刻をタイムカードに記入
 - ④ 記録用紙記入（次ページ参照）
 - ⑤ タイムカードを選手に渡す
- ★遅着早着チェック
目標チェックイン時刻に対して実際のチェックイン時刻を確認。

<特記事項>

★早着減点を取らない場合

特別規則書・公式通知により、早着のペナルティをとらない場合もある。
その場合、規則上は目標チェックイン時刻をタイムカードに記入することになっているが、主催者が実チェックイン時刻を記入するよう指示する場合もあるので、事前に確認すること（**今回は実チェックイン時刻を記入**）

★渋滞対策

時間調整でTC周辺で渋滞が起こる可能性があり、その時はHQに連絡し、対応する。

TC(Service周り)

※赤文字部分を記入

タイムカード (サンプル SSの次のTC4Aの例)

<目標チェックイン時刻>
前TCのスタート時刻 + 目標所要時間
※前TCがSSを伴う場合
SSスタート時刻 + 目標所要時間

タイムカード記入時は秒は切捨て

タイムカードより転記(全車同分が記載されている)

タイムカードを受取った時刻、秒は切捨て(秒については概数)

タイムカードから転記
・前がTCがSSを伴う場合はSSの実スタート時刻
・その他は、前TCのスタート時刻

記録用紙

※ 数字はダミーです

秒の記入は不要だが、同等の記録として有用なので、大体で良いので記入を推奨する。

A=侵入早、C=チェックイ早/遅、P=パルク違反、報=HQへの報告

車番	エリア進入時刻			チェックイン時刻			前TC/スタート時刻		違反(要連絡)				
	hour	min	sec ※	hour	min	sec ※	hour	min	A	C	P 報		
1	00	09	29	10	09	30	11	08	55	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	0	09	54	05	09	55	01	09	20	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	1	09	58	58	10	00	04	09	25	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	2	10	02	05	10	02	06	09	26	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	3	10	02	07	10	02	10	09	27	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

TC予告看板を通過した時刻(秒については概数)

目標チェックイン時刻の1分前にTC予告看板を通過した場合は、チェックを付けSCへ報告

目標チェックイン時刻早着 or 遅着の場合は、チェックとOを付けSCへ報告

コントロールエリア内での整備を行った場合は、チェックを付け、SCへ報告

SCへ報告し終わったらチェックをつける

※エリア進入時刻とチェックイン時刻の秒の記載は必要ないが、あった方が問い合わせ時に状況を思い出すのに便利

TC(Regroup IN・Parcferme IN)

<備品 及び 開設準備>

- 電波時計 時刻を確認
- TC看板 計時する場所
- 予告看板 **不要**
- 無線・携帯 HQ との感度確認
- アーリーアライバルの可否については、直前にHQに確認すること**
- Regroup OUT 時刻の決定方法・リタイヤ車両情報の入手方法**
※**競技長・計時委員長と事前に確認する。**
- タイムカードの回収・次セクションのタイムカードの配布方法
※**競技長・計時委員長と事前に確認する。**
(今回は、TC4BでSection1を回収し、Section2を配布する)

<競技中>

- ① エリア進入時刻チェック
予定時刻の1分以上前のエリア進入は記録し、コマンダーに報告
コドラが徒歩でエリアに入るのはOK
- ② タイムカードを受け取る
※自らから手を出してはいけない
※チェックイン時刻にはクルー 2 人と車両が到着している必要がある
- ③ チェックインタイムを記入
カードを受取った時刻をタイムカードに記入
時刻記入済みのタイムカードはエントラントに確認後、回収する
※Leg最終(Parcferme IN)の場合は以上で終了
- ④ **今回は、Regroup OUTの時刻を記入した新しいタイムカードを渡す**
- ⑤ パルク違反監視(TC予告看板以降は一切の車両整備禁止)
- ⑥ 記録用紙記入(次ページ参照)

<特記事項>

★早着減点を取らない場合

特別規則書・公式通知により、早着のペナルティをとらない場合もある。
その場合、規則上は目標チェックイン時刻をタイムカードに記入することになっているが、主催者が実チェックイン時刻を記入するよう指示する場合もあるので、事前に確認すること **(今回は実チェックイン時刻を記入)**

★リグループ内での待機

リグループ時間が15分以下の場合、車両内での待機も可

TC(Regroup IN・Parcferme IN)

※赤文字部分を記入

タイムカード (サンプル TCの次のTC4Bの例)

タイムカードのイメージ

TC 4A: フライング STOP M 15 S 10 1/10 H 9 M 17 所要時間 TC 4A

TC 4A: Service in 選手使用欄

目標時刻: H 00 M 45

到着予定時刻: H 10 M 02 TC 4B

TC 4B: Service out/Regroup in H 10 M 02 TC 4B

<目標チェックイン時刻>
 前TCのスタート時刻 + 目標所要時間
 ※前TCがSSを伴う場合
 SSスタート時刻 + 目標所要時間

タイムカード
 記入時は秒
 は切捨て

タイムカードより
 転記(全車
 同分が記載
 されている)

タイムカードを受
 取った時刻、秒
 は切捨て(秒につ
 いては概数)

タイムカードから転記
 ・前がTCがSSを伴う場合はSS
 の実スタート時刻
 ・その他は、前TCのスタート時刻

コントロールエリア内
 での整備を行った場
 合は、チェックを付け、
 HQへ報告

記録用紙

※ 秒の記入は不要だが、同等の記録として有用なので、大体で良いので記入を推奨する。

※ 数字はダミーです

※ 秒の記入は不要だが、同等の記録として有用なので、大体で良いので記入を推奨する。

A=エリア侵入早、C=チェックイン早/遅、P=パルク違反、報=HQへの報告

車番	エリア進入時刻			チェックイン時刻			リグループ	外時刻	前TC/SS発時刻		違反(要連絡)			備考			
	hour	min	sec ※	hour	min	sec ※			hour	min	hour	min	A		C	P	報
1	00	09	29	10	09	30	11	08	58	08	45	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(早/遅)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	0	09	54	05	09	55	01	09	23	09	10	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(早/遅)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	1	09	58	58	10	00	04	09	25	09	15	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(早/遅)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
4	2	10	02	05	10	02	06	09	26	09	16	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	(早/遅)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
5	3	10	02	07	10	02	10	09	27	09	17	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(早/遅)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

TC予告看板を
 通過した時刻(秒
 については概数)

目標チェックイン時刻の1分前以
 前にTC予告看板を通過した場合
 は、チェックを付けHQへ報告

HQへ報
 告し終え
 たらチェッ
 クをつける

目標チェックイン時刻早着
 or遅着の場合は、チェックと
 ○を付けHQへ報告

※エリア進入時刻とチェックイン時刻の秒の記載は必要ないが、あった方が問い合わせ時に状況を思い出すのに便利

今回使用するタイムカード

Timecard A 2023/1/29		Timecard A 2023/1/29	
TC 0	Rally start (花崗体育館) 選手使用欄 スタート予定時刻 TC 0 実スタート時刻 日曜時刻 到着予定時刻 	TC 4	SS 4 岩本線2 2064 km 選手使用欄 フィニッシュ時刻 スタート予定時刻 SS 4 実スタート時刻 日曜時刻 到着予定時刻 フライイング <input type="checkbox"/>
TC 1	SS 1 二井山線1 1622 km 選手使用欄 フィニッシュ時刻 スタート予定時刻 SS 1 実スタート時刻 日曜時刻 到着予定時刻 フライイング <input type="checkbox"/>	TC 5	SS 5 越山線1 2122 km 選手使用欄 フィニッシュ時刻 スタート予定時刻 SS 5 実スタート時刻 日曜時刻 到着予定時刻 フライイング <input type="checkbox"/>
TC 2	SS 2 岩本線1 2064 km 選手使用欄 フィニッシュ時刻 スタート予定時刻 SS 2 実スタート時刻 日曜時刻 到着予定時刻 フライイング <input type="checkbox"/>	TC 6	SS 6 岩本線3 2064 km 選手使用欄 フィニッシュ時刻 スタート予定時刻 SS 6 実スタート時刻 日曜時刻 到着予定時刻 フライイング <input type="checkbox"/>
TC 3	SS 3 二井山線2 1622 km 選手使用欄 フィニッシュ時刻 スタート予定時刻 SS 3 実スタート時刻 日曜時刻 到着予定時刻 フライイング <input type="checkbox"/>	TC 6A	Performance (1000m) 選手使用欄 フィニッシュ時刻 スタート予定時刻 実スタート時刻 日曜時刻 到着予定時刻 フライイング <input type="checkbox"/>